

# 世界史B 15 オスマン帝国(1299~1922)

ルーム・セルジューク朝(1077~1308)

- └( )1をトルコ化・イスラム化
- └13世紀なかばイル=ハン国に従属・分立

1299年 アナトリア西北端で( )2・ベイ=1世=(位1299~1326)、オスマン帝国建国

1326年 2代オルハン(位1326~68?) ビザンツと戦い、( )3を占領→初期の首都

1354年 ダーダネルス海峡沿いの( )4=カリポリスを占領

ムラト1世(位1359~89)

- └バルカンの都市( )5=1365遷都、ソフィア(ブルガリア)を占領
- └イスラム法=シャリーアにもとづく国家制度を整備。
- └アッバース朝のカリフから( )6の称号を認められる。
- └直属の常備軍としてイエニチェリを創設。

1389年 ( )7の戦いでセルビア王国などバルカン半島の連合軍を破る。

バヤズィト1世(位1389~1402)

1396年 ( )8の戦いでドイツ、フランス、ハンガリー連合軍を破る→[ ]9半島制圧

1402年 ( )10の戦いでティムール軍に大敗→アナトリアの諸君侯国が自立。のち再建

( )11 2世(位1444~81)=「征服帝」

1453年 ( )12帝国を滅ぼす→コンスタンティノープル攻略

- └首都をコンスタンティノープル→現[ ]13へ遷都。
- └アヤ=ソフィアをモスクとする。正教会総主教に哲学者・神学者のゲンナディオス(1400?~68?)を任命。
- 自らを( )14と称し、ギリシャ正教会の首長・ビザンツ帝国の後継者とする。
- └( )15宮殿、モスクなどの施設を整備。
- └トルコ人モスレムのほか、正教徒、カトリック教徒、[ ]16教徒などを住まわせる。
- └イタリア人の芸術家などを集める→( )17(1429~1507)に肖像画を描せる。
- └( )18半島(ギリシャ)、アナトリア全土を征服。
- └クリム=ハン国=( )19半島を征服(1475)。→黒海の海上権

セリム1世(位1512~20)

1514年 [ ]20朝とチャルディランの戦い→鉄砲と大砲が騎馬軍団を撃破。

- ・北イラク、アゼルバイジャンなどを征服。

1516年 マムルーク朝と戦い、翌年( )21を占領。

- シリア、パレスティナ、エジプトを併合。( )22、メディナを保護下におく。
- ⇒マムルーク朝から「二聖都の保護者」の地位を継承。(18世紀末スルタン=カリフ制)

( )23 1世★a=大帝(位1520~1566) 最盛期→神聖ローマ皇帝カール5世と対抗。

10回のヨーロッパ遠征→ハンガリー、ロードス島など征服。

1526年 モハーチの戦い→( )24王国を破り、ハンガリー南部を支配下に。

1529年 第一次( )25包囲

1538年 ( )26の海戦でスペイン、ヴェネチア、ローマ教皇の連合艦隊を破る。

- 北アフリカ=マグリブ、南イラク=都市[ ]27など、イエメンを支配下に。
- ヨーロッパ、アジア、アフリカにまたがる大帝国内に発展。

地中海、紅海、アラビア海、インド洋の海上交通=( )28貿易」を支配。

★a—13回の対外遠征。オスマン帝国の最盛期を築く。その名は旧約聖書の王[ ]に由来。

1571年 ( )29の海戦=スペイン・ヴェネツィア・ローマ教皇の連合艦隊に破れる。

- 翌年、艦隊を再建→16世紀末まで、地中海での優位を保つ。

1683年 第二次( )30包囲→ハンガリー人のハプスブルクへの反乱を支援

- オーストリア、ポーランド、ドイツ諸侯の連合軍が勝利。

1699年 ( )31条約

- └ハンガリーをハプスブルクに。
- └アドリア海沿岸の一部をヴェネツィアに。翌年ロシアに( )32を割譲。
- オスマン帝国のヨーロッパにおける軍事的優位が崩れる。

[オスマン帝国の政治・文化]

└税制・官僚制・検地などの法律=カーヌーン=を整備→スレイマン=「( )33者」

└キリスト教徒の少年をイスラムに改宗させ軍人・官僚とする( )34制

- 軍人=( )35=鉄砲で武装した精鋭軍を組織。

└軍事封土制--地方のスイパーヒー=騎兵→土地の徴税権=ティマールを俸給として従軍。

└スンナ派国家。宗教、伝統、習慣に関して( )36策

ユダヤ、キリスト教徒に改宗を強制せず→庇護民=( )37制度

- 固有の宗教共同体(ミット)と、固有の信仰・言語による教育・裁判を許容。

└1569年在留外国人に( )38=領事裁判権、通商特権=を与える→後に「不平等条約」化

└公用語=アラビア文字表記の[ ]39語→「トルコ=イスラム文化」が成熟

- ・陶芸--( )40=旧名ニケーア=陶器
- ・多宗教・多民族政策→キリスト教徒、ユダヤ教徒の能力を生かした経済の繁栄



オスマン1世



メフメト2世とゲンナディオス



メフメト2世(ベッリーニ作)



スレイマン1世



コンスタンティノープル



イズニク陶器



イエニチェリ



レバントの海戦



トプカプ宮殿

- ・立法 ・東西 ・寛容 ・カイロ ・ブルサ ・メッカ ・アゾフ ・メフメト ・ウィーン(2) ・アンカラ ・クリミヤ
- ・レバント ・コソヴォ ・ゲリボル ・ビザンツ ・オスマン ・スルタン ・トプカプ ・イズニク ・カエサル
- ・ベッリーニ ・アッバース ・ハンガリー ・スレイマン ・プレヴェザ ・アナトリア ・ニコポリス ・ズインミー
- ・デウシルメ ・ペロポネソス ・イエニチェリ ・カルロヴィッツ ・アドリアノープル ・カピチュレーション